

公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部・いわて技術フォーラム  
2022年度合同年次大会議事録

開催日時：2022年7月2日(土)13:30～14:30

開催場所：エスポワールいわて 2F 大ホール

出席者数：35名（会員）

1. 開会

川野企画委員長が年次大会の開会を宣言し、議長登壇までの間、大会を進行した。

2. 支部長挨拶

（日本技術士会岩手県支部（以下、支部という。）といわて技術フォーラム（以下、フォーラムという。）を代表して小野寺支部長が挨拶）

本日は技術士会東北本部より副本部長の井口様と幹事である長澤様を御来賓としてお迎えしている。一昨年度は新型コロナウイルスの影響で年次大会自体を中止とせざるを得ない状況であった。昨年度は年次大会については開催できたが、懇親会は中止とした。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は中止としたので会員の皆様には御理解いただきたい。また、激甚化、頻発化した自然災害への対応、老朽化した土木施設の補修、補強や、農地、森林の保全等、会員皆様の専門分野での御活躍には心から敬意を表す。そして会友である平山先生が5月末に県政功労者として表彰された。今回の年次大会への先生の御出席は都合がつかず、叶わなかったが、先生の表彰については皆様と共に御祝いを申し上げたい。本日の合同年次大会では2021年度の活動内容の確認や、2022年度の活動計画について皆様からの意見を頂戴しながら、心を一つにしてスタートしたいと考えている。本日はよろしく願いしたい。

3. 御来賓紹介

川野企画委員長より、御来賓である技術士会東北本部副本部長の井口高夫様と幹事の長沢和夫様の紹介があった。

4. 御来賓代表式辞

（御来賓を代表して技術士会東北本部副本部長の井口高夫様から式辞を頂戴した）

2022年の年次大会の開催まことにおめでとうございます。東北本部副本部長の熊谷が所用のため、代わりに挨拶を申し上げます。公益社団法人日本技術士会東北本部は1973年5月30日に日本技術士会東北支部として設立され、2023年には設立50周年の節目を迎えます。現在、東北6県に各県支部が組織され、本年3月末時点で船舶・海洋部門を除く20部門1,304名の会員の皆様が東北本部管内で御活躍されています。歴代の副本部長、支部長、そして役員、会員の皆様の高い志と、御尽力に改めて感謝申し上げます。本年3月17日に日本技術士会組織行動規範が制定されました。この冒頭にある経営理念には、「日本技術士会の社会的使命は、技術士がその高度な専門知識と応用能力を駆使して様々な技術分野の業務に取り組むことにより、多様化・複雑化する社会的課題を解決に導くこと

を、組織として支援することです。日本技術士会は、その使命を適正に果たすべく、法令を遵守することはもとより、公益法人としての中立性、公平性を堅持し、高い倫理観と適正なガバナンスの下で、会員の意見を広く公平に反映させた健全な組織活動を遂行します」とあります。東北本部はこの経営理念の下、会員皆様の支援を第一に考え、技術士会活動を確実に展開して参りますので、どうぞよろしくお願ひします。世界的猛威を振っている新型コロナウイルス発生から2年半が経過しましたが、未だに終息しておらず、私達の活動もかなりの制約を受けています。その一方で、感染対策として、世界的にオンラインを活用した会議や講演会が急速に普及しました。技術士会東北本部においても、遠隔地に居ながらCPD行事がオンラインで受講できる等、今まで懸案であったCPD受講機会の地域間格差が確実に是正されつつあります。新方式の導入に向けて試行錯誤しながら取り組んでいただいた会員の皆様に感謝申し上げます。今後とも、対面による活動はもとより、オンラインを有効活用した会議や講演会等、会員への支援を第一に考え、地域間格差の是正や、CPDの充実を核とした会員サービスの向上を実現していきますので、御支援と御協力を御願ひ申し上げます。次に「技術士CPD活動実績の管理及び活用制度」についてです。2021年4月26日に発出された大臣通知および同年9月8日の文部科学省省令改正に基づき、新たな制度が始まりました。会員の皆様には、技術のプロフェッションとして継続研鑽に一層取り組むとともに、技術士会CPD登録システムに登録することで、技術士CPD認定を受けて頂きたいと思ひます。私はこの技術士CPD実績管理登録制度の普及が、技術士の認知度と価値を高めることに繋がると考えております。このため、東北各県支部の皆様と力を合わせ、技術士CPD活動に尽力したいと考えておりますので、御協力を御願ひ申し上げます。社会に貢献する技術者集団として皆様が楽しく、率先して活動に参加できる技術士会東北本部として精進してまいりますのでよろしくお願ひします。最後になりますが岩手県支部の益々の発展と皆様方の御健勝を祈念し祝辞とさせていただきます。

#### 5. 年次大会成立報告

鈴木総務委員長からフォーラム会員196名中、出席者35名、委任状84名でフォーラム規則第15条の規定に基づき、大会が成立した旨の報告があった。(支部規則には参加者数による大会成立条件はない。)

#### 6. 議長選出

川野企画委員長から、合同開催にあたり、議長は両者を代表して支部側から選出することとし、支部規則第19条により支部長が議長となる旨の説明があった。この後、小野寺支部長が議事を進行した。

#### 7. 議事録署名人選出

議事録署名人に安野雅満氏、番澤悦昭氏を選出した。

#### 8. 議事

##### (報告及び議案事項1)

鈴木総務委員長から支部及びフォーラムの2021年度事業報告及び収支決算について報告、説明があった。続いて加藤修会計幹事から会計監査報告があった。その後、質問、

意見がなかったため、議長が議案 1 の承認を議場に求めたところ参加者全員から拍手をもって承認された。(支部の報告事項は支部規則により承認を要しない。)

(報告及び議案事項 2)

鈴木総務委員長から支部及びフォーラムの 2022 年度事業計画及び収支予算について報告、説明があった。その後、議場より年会費 2 万円のうち本部から還付される額についての質問、および地域組織活動費補助など還付金の増額を要望すべきとの意見があり、鈴木総務委員長から回答があった。最後に、議長が議案 2 の承認を議場に求めたところ参加者全員から拍手をもって承認された。(支部の報告事項は支部規則により承認を要しない。)

9. 閉会

議長退壇後、川野企画委員長が年次大会の閉会を宣言した。

以上

議事録署名人

安野 雅 満



番澤 悦 昭

